

事業所における自己評価結果(公表)

公表：平成 31年 3月 1日

事業所名

ぬくもり小幡

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である。	○		体育館と保育室が ありのびのびできている	
	②	職員の配置数は適切である。	○			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達などへの配慮が適切になされている。	○		ホワイトボードによる活動内容の把握など児童が視覚的に捉えやすいようにしている	滑りやすい床などがあり、内装工事を予定している。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。又、子ども達の活動に合わせた空間になっているか。	○		体育館と保育室で活動内容に応じて使い分けることが出来ている	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画している。	○			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者などに対して事業所の評価を実施するとともに、保護者などの意向等を把握し業務改善につなげている。	○			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価をおこなうとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	○			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。		○		現在検討中
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	○		毎月の全体会議で事例検討会を実施	外部研修の頻度を増やしていきたい。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	○			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	○			
	⑫	平日、休日、長期休暇に応じて課題をきめ細やかに設定して支援している。	○			
	⑬	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われている。	○			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている。	○			

	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	○		ある程度の固定化と、内容に変化をつけるようにしている	
適切な支援の提供	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している。	○			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			土曜日や長期休暇中については課題が残っている。 日報の有効活用をしていく。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い気付いた点などを共有している。		○		送迎に時間が掛かってしまい困難。 翌日行なうようにしている。
	⑲	日々の支援に関して記録を取る事を徹底し、支援の検証・改善につなげている。	○			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している。	○			
	㉑	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている。	○			
	関係機関や保護者との連携	㉒	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	○		
㉓		学校との情報共有(年間行事・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている。	○			
㉔		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている。	/	/		
㉕		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。		○		十分に行えているとは言えない。 保護者様への同意なども踏まえ、必要に応じて行なっていきたい。
㉖		児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修をうけている。	○			
㉗		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
㉘		放課後児童クラブや児童館との交流や、障害の無い子どもと活動する機会がある。		○		検討を要する
㉙		地域自立支援協議会(児童部会)等へ積極的に参加している。	○			
㉚		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	○			
㉛		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている。		○		必要なスキルが身につくよう研修などへの参加を行っています。
		㉜	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	○		

保護者への説明責任等	③③	放課後等デイサービスガイドラインの「提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された放課後等デイサービス計画を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	○			
	③④	定期的に、保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	○			
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催するなどにより、保護者同士の連携を支援している。	○		懇談会やクリスマス会への招待など	今後も継続した実施を目指していきます。
	③⑥	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知するとともに、苦情あった場合に迅速かつ適切に対応している。	○			
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意している。	○			
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮をしている。	○			
	④⑩	事業所の行事や地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。		○		家族や兄弟様に留まっており、検討を要す。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知している。	○			
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救助その他必要な訓練を行っている。	○			
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している。	○			
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。		○	管理表の作成などを行っている	医師の指示書ではなく、保護者様からの対応説明に準じている。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	○			
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	○			
	④⑦	このよつな場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画を作成し記載している。		○		近年の身体拘束に関する解釈に準じて、現在見直しを行っております。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表：平成 31年 3月 1日

事業所名 ぬくもり小幡 保護者等数(児童数) 30 回答数 22 割合 73 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分確保されているか	22	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	17	5	0		
	③	障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達などへの配慮が適切になされているか。	16	5	0		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。又、子ども達の活動に合わせた空間になっているか。					
適切な支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	20	2	0		
	⑥	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか。					
	⑦	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	21	1	0		
	⑧	放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	10	7		地域の情報収集を行い、検討を進めていきます。
保護者への 説明責任等	⑨	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21	1	0		
	⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか	21	1	0		
	⑪	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援を行っているか	21	0	1		
	⑫	父母の会の活動を支援や、保護者会等を開催等により、保護者同士の連携が支援されているか	10	8	4		昨年から懇親会を実施し始めました。継続できるよう努めていきます。
	⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明するとともに、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	19	3	0		
	⑭	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮がなされているか	21	1	0		

保護者への説明責任等	⑮	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	21	1	0		
	⑯	個人情報の取り扱いに十分注意がなされているか	19	3	0		
非常時等の対応	⑰	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知・説明するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	16	4	2		実施しているが周知されていない様子。今後会報や連絡帳などを活用しながら、実施している事やその様子などを保護者様へと伝えていく努力をしていきます。
	⑱	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	18	3	1		同上
満足度	⑲	子どもは通所を楽しみにしているか	22	0	0		
	⑳	事業所の支援に満足しているか	21	1	0		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。